

令和元年6月24日現在

機関番号：13701

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K09129

研究課題名(和文) 発展途上国における地域精神保健の質を評価する方法に関する研究

研究課題名(英文) Research on the method of evaluating the quality of regional mental health in developing countries

研究代表者

西尾 彰泰(Nishio, Akihiro)

岐阜大学・保健管理センター・准教授

研究者番号：90402172

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：カンボジアのプノンペンとシェムリアップにて、精神病未治療期間の長さの測定と、精神病(統合失調症、うつ病)に対する一般住民の意識を測定した。その結果、農村部であるシェムリアップでは、都市部であるプノンペンに比較して有意に、精神病未治療期間が長いことがわかった。また、精神病未治療期間の長さは、患者の年齢や、性別、教育歴、職種など、患者のバックグラウンドに影響を受けず、その地域の精神保健の質を評価する指標として用いることが可能性が示唆された。精神病に対する意識は、フランスにおける調査と比較すると、ネガティブな経過を予想する者が多いが、患者に対して力になってあげたいという気持ちが強いことがわかった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

政府資金による開発途上国支援は、様々な分野で行われているが、これまでメンタルヘルス分野での支援は殆ど行われたことがなかった。その原因の一つとして、支援プロジェクトの成果を評価する方法がなかったということがある。本研究では、精神科未治療期間と、精神病に対する意識という2つの視点により、地域精神保健の質を客観的に評価する指標を作ることを目指した。本研究では、カンボジアの都市部と農村部でデータを取ることで、これらが指標となり得ることを示した。他の途上国でのデータ収集、除外値の設定など、本研究をさらに進めることにより、途上国で用いることができる初めての精神保健分野での指標がつけられることとなる。

研究成果の概要(英文)：We measured the length of the duration of untreated psychosis (DUP) and the general public's awareness of psychosis (schizophrenia, depression) in Phnom Penh and Siem Reap, Cambodia. As a result, in the rural area Siem Reap, it was found that DUP was significantly longer than in the urban area Phnom Penh. In addition, DUP was not affected by the patient's background such as patient's age, gender, educational history, occupation and so on. It means DUP can be used as an index to evaluate the quality of mental health in the area. Compared with the survey in France, many people expect a negative course of the psychotic patients, but they have a strong desire to help the patient.

研究分野：国際精神保健

キーワード：メンタルヘルス 精神保健 途上国 指標

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

多くの発展途上国では医療システムが脆弱であり、貧困や社会不安の原因のひとつである。特に精神保健領域は、その整備が極端に遅れている。その原因の一つは、他領域のような明確な評価方法がないため改善プランを示すことが困難なことである。そのため、WHO は WHO Assessment Instrument Mental Health Systems (WHO-AIMS)(2005)、Monitoring and evaluation of mental health policies and plans (2008)、Mental health Gap intervention Guide (2010)、Mental Health Action Plan (2013)と、途上国における精神保健の基礎データを収集し、評価するための実践的なツールを立て続けに発表した。しかし、これらは、医療従事者の数や、施設整備状況などのインフラを評価することに偏重しており、精神保健の質を、地域単位で評価することはできなかった。地域レベルにおいて、精神保健の質を評価するための、簡便で有用な評価方法が求められている。従来より、途上国における精神保健の研究は非常に少なく、地域レベルにおける精神保健の評価に関する研究は、我々の検索の限りでは Haider A. (PLOS ONE, 2009)らのパキスタンにおける報告のみである。この領域での客観的なデータを積み重ねることは、喫緊の課題であった。

### 2. 研究の目的

発展途上国の精神保健レベルの向上のためには、地域レベルにおける精神保健の質を客観的に評価する必要がある。地域で行われる大規模から小規模、組織的から自発的まで、様々な精神保健活動の効果は、これらを実行することによって、はじめて可視化できるからである。しかし、現状は国際比較用の国家リソース評価 (WHO 提唱) しかない。そこで、研究代表者は、精神科的問題を抱えた時にすみやかに専門機関を受診できるか(DUP)、精神疾患に対する差別、偏見が少ないか、治療脱落が少ないか、の3点が、地域における精神保健の質の指標となると考えた。これらを測定し、途上国における精神保健の質を測定することが、本研究の目的である。

### 3. 研究の方法

カンボジアのプノンペンとシェムリアップにて、プノンペン 368 人、シェムリアップ 488 人の精神科を受診している初診患者を対象とした。両者における性別、年齢、診断名、精神病未治療期間、精神疾患未治療期間 (精神病以外の精神疾患を含む) を比較した。診断名は、精神病性障害、気分障害、不安障害、物質使用関連障害、てんかん、その他の6つに分類した。

また、プノンペンとシェムリアップにて、一般住民における、精神病に対する知識・意識を測定し、比較した。比較に用いたのは、Jorm A. (BMC Medicine 2005) が作成した「シナリオを用いた、精神病に関する知識・意識調査」であり、シナリオは「統合失調症」と「うつ病」を用いた。対象者は、プノンペンで 403 人、シェムリアップ 208 人であった。

### 4. 研究成果

調査対象患者の診断名の割合は、プノンペンで、精神病性障害 14.9%、気分障害 48.0%、不安障害 14.7%、物質使用関連障害 4.9%、てんかん 1.6%、その他 15.2%であった。一方、シェムリアップでは、精神病性障害 12.7%、気分障害 26.8%、不安障害 37.7%、物質使用関連障害 6.4%、てんかん 1.8%、その他 14.5%であった。平均精神病未治療期間は、プノンペンで 10.8 ± 25.2 月、シェムリアップで 52.8 ± 79.2 月、平均精神疾患未治療期間は、プノンペンで 12.0 ± 27.6 月、シェムリアップで 51.6 ± 69.6 月であった。いずれもプノンペンの方が有意に短かった。

また、精神病未治療期間の長さは、患者の年齢や、性別、教育歴、職種など、患者のバックグラウンドに影響を受けず、その地域の精神保健の質を評価する指標として用いることができることが示唆された。精神病に対する意識は、フランスにおける調査と比較すると、ネガティブな経過を予想する者が多いが、患者に対して力になってあげたいという気持ちが強いことがわかった。

### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 1 件)

Factors that influence delaying initial psychiatric treatment in rural Cambodia: A pilot study.

Akihiro Nishio, Ryo Horita, Toshiyuki Marutani, Mayumi Yamamoto  
PLoS One. 2018; 13(11): e0206882.

2018 年 10 月

〔学会発表〕(計 5 件)

プノンペンとシェムリアップにおける精神病未治療期間の長さの比較

西尾彰泰、丸谷俊之、堀田亮、山本真由美

第 33 回日本国際保健医療学会学術大会

2018 年 12 月 1 日

Siem Reap in Cambodia  
Akihiro Nishio, Toshiyuki Marutani, Ryo Horita, Mayumi Yamamoto  
The 18th International Congress of The Pacific Rim of Psychiatrists  
2018年10月27日

発展途上国における患者背景と精神病未治療期間の関係：カンボジア農村部に注目して  
西尾彰泰、丸谷俊之、堀田亮、山本眞由美  
第32回日本国際保健医療学会学術大会  
2017年11月25日

精神病に対するカンボジア人に態度・考え方  
西尾彰泰、丸谷俊之、窪田彰、野崎章子、篠原慶朗、青木勉、山本眞由美  
第31回日本国際保健医療学会学術大会  
2016年12月3日

Attitudes and beliefs of the Cambodian people about schizophrenias  
Akihiro Nishio, Ryo Horita, Toshiyuki Marutani, Akiko Nosaki, Tsutomu Aoki, Mayumi Yamamoto  
Akira Kubota, Noriaki Shinohara, Mayumi Yamamoto  
17th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting  
2016年11月3日

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕  
出願状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年：  
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

研究分担者氏名：丸谷 俊之

ローマ字氏名：Marutani Toshiyuki

所属研究機関名：東京工業大学

部局名：保健管理センター

職名：准教授

研究者番号(8桁)：20642177

### (2) 研究協力者

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。